

事務事業名	水処理センター施設維持管理事業	担当	上下水道部 下水道課 水処理係
政策名	5 「環境づくり」～安全なまちアップ!～	施策名	2 下水道事業の推進
成果指標	名称	単位	5 年度実績
	放流水の水質（BODの平均値） 基準値 15mg/L	mg/L	真岡4.3mg/L 二宮2.1mg/L
	放流水の水質（SSの平均値） 基準値 40mg/L	mg/L	真岡4.3mg/L 二宮2.0mg/L
事業概要	水処理センターは、快適な市民生活環境の確保と、河川等の水質保全を目的として計画された施設で、市民の生活排水等を浄化している。 真岡市水処理センターは、昭和58年3月から供用を開始し、標準活性汚泥法により処理水を五行川に放流している。 二宮水処理センターは、平成7年3月から供用を開始し、オキシデーションディッチ法により処理水を西川に放流している。 また、両施設とも老朽化が進んでいるため、中長期的な施設の状態を予測しながら、計画的かつ効率的に管理する「ストックマネジメント計画」に基づき、点検・調査・改築・修繕等を実施している。		
5 年度実績・成果・課題	施設の適正な運転管理により、放流水の水質については、基準値以内となっている。 また、「ストックマネジメント計画」に基づき、設備の修繕・更新等を行うことにより、下水道施設の機能停止や事故等を未然に防止している。 令和5・6年度で、真岡市水処理センターの耐震診断（対象施設の耐震化対策に係る劣化調査）及び水処理設備の汚泥ポンプ類等更新工事を実施している。 今後は、計画的に設備の修繕・更新等を行うため、社会資本整備総合交付金等による事業費の確保が必要となる。		
今後の方向性と具体策	<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない） 【具体的な改善案】 施設の老朽化が進んでいるため、適切な時期に修繕・更新等を行っていく。 しかしながら、下水道事業の財政状況を鑑み、その中でも、更に優先性を考慮していく。 また、ストックマネジメント計画の対象となるものについては、適宜、計画の見直しを行い、社会資本整備総合交付金を積極的に活用し、対応していく。		